Active Scan 250™

Active Scan 250

株式会社サウンドハウス
〒286-0044　千葉県成田市不動ヶ岡 1958
TEL:0476(22)9333　FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は Elation ActiveScan250 をご購入いただき、誠に有難う御座います。
ActiveScan250 は 6 チャンネル DMX インテリジェント・スキャナーです。11 色、7 種類のゴボ・パターン、250W のディスチャージ・ランプを使用し、空間を華やかに彩ることが可能です。
ActiveScan250 の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また不明な点が生じた場合に備え、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

基本仕様

- マイクロ・ステップ・モーターによるスムーズなカラー、ゴボの変換
- DMX-512 に対応
- 7 種類のゴボ・パターンとスポット
- 11 カラー + 白
- マスター/スレーブ操作
- 本体にマイクを内蔵
- スピード可変式ストロボ機能
- 取替え可能なゴボ
- LED ディスプレー・メニュー
- 電球：MSD250/2

ディスチャージ・ランプに関する注意

本製品に搭載されたディスチャージ・ランプは非常に破損しやすい為、取扱いには十分ご注意下さい。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります。手で触れた場合はやわらかい布で電球の表面をふき取って下さい。また衝撃などにより電球内のフィラメントが切れることがありますので、取扱いにはご注意下さい。

ディスチャージ・ランプは非常に強い紫外線を発光します。極度の輝度は網膜を痛める可能性があります。保護カバーは紫外線の放射を遮断する為に特別にデザインされていますので、保護カバーなしで本製品を絶対に使用しないで下さい。

注：ディスチャージ・ランプを直接見ることを絶対に避けて下さい。

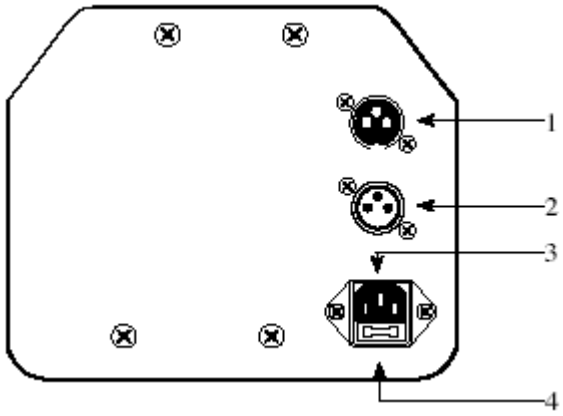
本体電源のオン/オフを短い時間に連続して行うとランプの寿命が縮まりますのでお止め下さい。
ランプや電源を OFF にした後、5 分間は電源を入れないようにしてください。
電球の寿命が短くなるため、再度使用する場合は 5 分以上クールダウンをしてから電源を入れご使用ください。

照度を保つ為に、ディスチャージ・ランプは高圧で圧縮されたガスが使用されています。その為長期に渡り使用した場合、ランプが破裂する恐れがあります。このリスクはランプが古くなるにつれ増加します。ガスを使用したディスチャージ・ランプが装填されている製品を使用する際にはくれぐれもご注意下さい。また、使用中に本体を開けることは危険ですのでお止め下さい。

安全上のご注意

- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしない様ご注意下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはお止め下さい。
- アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。
- 本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外してから行って下さい。
- どのような状況においても本体のカバーを外さないで下さい。
- 本体カバーを外した状態で本製品を使用しないで下さい。
- 本製品をディマーパックに接続しないで下さい。
- 必ず風通しの良い、壁から約 15 センチ以上離れた場所に設置して下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用を止めて下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。
- 本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせ下さい。

基本機能と操作



1. XLR 入力端子

DMX 信号、及びマスター/スレーブ信号の入力に使用します。

2. XLR 出力端子

XLR 入力端子から受信した DMX 信号を外部 DMX 機器に出力したり、マスター/スレーブ信号をもう 1 台の ActiveScan250 に接続したりする為に使用します。DMX モード、又はマスター/スレーブ・モード時にシリアル接続された最後のユニットにターミネーターを接続するとチェーン上の全てのユニットが安定します。

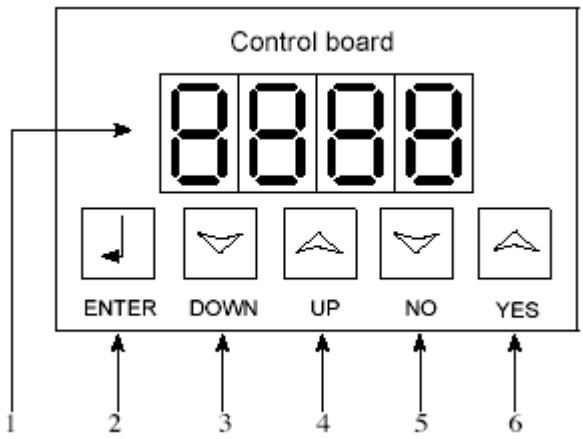
3. 電源入力端子

電源ケーブルを接続して本体に電源を供給します。本体に付属する電源ケーブルのみを使用して下さい。アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。

4. ヒューズ・ホルダー

7 A ヒューズを使用して下さい。ヒューズは電源の激しい変動が起きた場合に本体の内部回路を保護するように設計されています。ヒューズが過入力電源等により切れた場合は、速やかに同等のヒューズと交換して下さい。

デジタルディスプレイ



1. デジタルディスプレイ

メニューと操作機能を表示します。

2. ENTER ボタン

システムメニュー上の設定の決定を行います。

3. DOWN ボタン

システムメニューを逆回りにスクロールします。

4. UP ボタン

システムメニューを順回りにスクロールします。

5. NO ボタン

システムメニュー上の機能を非選択（NO）します。

6. YES ボタン

システムメニュー上の機能を選択（YES）します。

基本設定

電源

ActiveScan250 は定格電圧 AC100V、50/60Hz で使用して下さい。電源ケーブルをコンセントに接続する前に電源を確認して下さい。

DMX-512

DMX は照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の“DATA IN”、“DATA OUT”端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX ケーブル

ActiveScan250 は 6 チャンネル DMX ユニットです。DMX アドレスは本体の底面で設定して下さい。DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は XLR 仕様のケーブルを使用し行ないます。DMX ケーブルを作る際は標準 2 芯シールドケーブルを使用して下さい。
また、DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続して下さい。

DMX ケーブルを作る際、以下の図を参照して下さい。

5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターをDMX 信号の通信用に採用しています。5ピン仕様の XLRコネクターを ActiveScan250 に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

LED 表示と機能

システムメニュー上の LED 表示とその機能について下記の説明を参照して下さい。システムメニューは“UP”又は“DOWN”を使ってスクロールすることができ、機能を選択する場合は“YES”ボタンを押し、“ENTER”ボタンで決定します。また逆にシステムメニュー上の機能を非選択する場合は“NO”ボタンを押し、“ENTER”ボタンで決定して下さい。

注:システムメニュー上の機能を選択した場合、必ずそれ以前に選択していた機能を非選択して下さい。

F1 – リバースパン(X 軸)

注:ユニットがマスター/スレーブモードの時のみ使用可能です。

F2 – リバースチルト(Y 軸)

注:ユニットがマスター/スレーブモードの時のみ使用可能です。

F3 – リセット

F4 – サウンドアクティブ

ユニットが低周波数の音に反応します。この機能はマスター/スレーブモードと共に使用することが可能です。

F5 – 内蔵プリセット・プログラムを有効にします。この機能はマスター/スレーブモードと共に使用することが可能です。

F6 – マスター/スレーブモードを選択し、マスター機を決定します。

F7 – なし

F8 – デジタルディスプレイの LED 表示を上下反対に表示します。

基本操作

スタンドアローン・モード（サウンドアクティブ）

音楽に合わせてユニット単体が動作します。スタンドアローン・モードは ActiveScan250 を単体で動作させるとき、又は複数台をそれぞれ独立して動作させる際に使用可能です。

1. ユニットをスタンドアローン・モードで使用する際は、システムメニュー上を“UP”、又は“DOWN”ボタンでスクロールし F4 をディスプレイに表示させて下さい。
2. “YES”を押して、“ENTER”で決定して下さい。
3. スタンドアローン・モードを非選択する場合、F4 をディスプレイに表示させ、“NO”を押して“ENTER”で決定して下さい。

マスター/スレーブモード（サウンドアクティブ）

最大 16 台の ActiveScan250 をリンクさせ、コントローラー無しで操作することが可能です。リンクされた全てのユニットは音に反応して動作します。またマスター/スレーブ・モードでは 1 台がマスターになり、残りのユニットはスレーブとして動作します。

1. 標準 XLR シールドケーブルを使用して、複数の ActiveScan250 を直列接続して下さい。接続台数が多く、ケーブルの長さが長くなる場合はターミネーターを最後のユニットに接続することをお勧めします。
2. マスターにする 1 台を選び、マスター機のシステムメニュー上で“UP”又は“DOWN”ボタンを使い F6 を表示して下さい。“YES”ボタンを押して選択し、“ENTER”ボタンで決定して下さい。
3. マスター以外の各スレーブ機を“A001”に設定して“ENTER”で決定して下さい。マスター機と同様にスレーブ機が動作します。

DMX コントロールモード

ＤＭＸ－５１２ コントローラーを使用してミラー・ムーブメント、カラーホイール、ゴボホイール、シャッターを操作することが可能です。DMX コントローラーを使用することにより用途にあった設定をすることが可能です。

1. ActiveScan250 は 6 つの DMX チャンネルを使用可能です。6 チャンネルそれぞれの機能は以下を参照下さい。

チャンネル 1： パン	チャンネル 4： ゴボホイール
チャンネル 2： チルト	チャンネル 5： シャッター機能
チャンネル 3： カラー	チャンネル 6： ゴボの回転

2. “UP”と“DOWN”ボタンを使用してディスプレイに“A001”を表示し、“ENTER”ボタンで決定して下さい。
3. DMX コントローラーのフェーダーを使って DMX 機器の各機能を操作して下さい。

DMX 表

Channel	Value	Function
1	0 – 255	PAN
2	0 – 255	TILT
3	0 – 127	カラー選択
	0 – 9	ホワイト
	10 – 20	グリーン
	21 – 31	レッド
	32 – 41	シアン
	42 – 52	ライトグリーン
	53 – 63	UV
	64 – 73	ライトブルー
	74 – 84	イエロー
	85 – 95	グリーン
	96 – 105	ピンク
	106 – 116	ブルー
	117 – 127	オレンジ
	128 – 190	カラー・ミックス・エフェクト
	191 – 220	順回転レインボー・エフェクト（高速→低速）
	221 – 222	停止
	223 – 252	逆回転レインボー・エフェクト（低速→高速）
	253 – 255	サウンド・アクティブ
4		ゴボ選択
	0 – 15	スポット
	16 – 31	ゴボ1
	32 – 47	ゴボ2
	48 – 63	ゴボ3
	64 – 79	ゴボ4
	80 – 95	ゴボ5
	96 – 111	ゴボ6
	112 – 127	ゴボ7
	128 – 132	オープン
	133 – 144	ゴボ1 シェイク

Channel	Value	Function
4	145 – 156	ゴボ2 シェイク
↓	157 – 168	ゴボ3 シェイク
	169 – 180	ゴボ4 シェイク
	181 – 192	ゴボ5 シェイク
	193 – 210	ゴボ6 シェイク
	211 – 217	ゴボ7 シェイク
	218 – 219	オープン
	220 – 249	ゴボ・ホイール回転
	253 – 255	サウンド・アクティブ
5		シャッター
↓	0 – 63	ディマー、0 – 100%
	64 – 95	ストロボ（低速→高速）
	96 – 100	リセット
	101 – 127	オープン
	128 – 159	サウンド・アクティブ
	160 – 191	パルス・エフェクト 1
	192 – 223	パルス・エフェクト 2
	224 – 255	オープン
6		ゴボ回転
↓	0 – 127	スライド
	128 – 189	順回転（高速→低速）
	190 – 193	停止
	194 – 255	逆回転（低速→高速）

ゴボ

ゴボの交換

ゴボの交換にはプラスドライバーとマイナスドライバーが必要になります。

1. 電源ケーブルをコンセントから外して下さい。電源を切らずにカバーを開けることは大変危険ですのでお止め下さい。
2. プラスドライバーを使って本体のカバーを外して下さい。
3. ゴボのレンズ側にある固定リングをマイナスドライバーで外し、ゴボをピンセットなどでレンズ方向にゆっくり引っ張って下さい。

電球交換

電球を交換する際は必ず同じ型の電球と取り替えて下さい。決められたパーツ以外と交換した場合、保証対象外となりますので予めご了承下さい。

注:電球やヒューズが立て続けに切れる場合は、ユニットの使用を停止し、販売店、又は輸入代理店までご連絡下さい。

電球交換

本体ユニットに電源が入った状態で電球交換することは非常に危険ですのでお止め下さい。電球を交換する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外し、本体内部が冷めるまでしばらくお待ち下さい。

1. ユニットの裏側にあるネジを外して下さい。
2. 電球ソケットをスライドして下さい。
3. 古い電球を取り外し、新しい電球と交換して下さい。
4. 電球ソケットを元に戻し、ネジを締めて下さい。

電球の調整

以下の方法により電球を反射板の真中に調整します。正しく調整された電球は照度も良く、寿命も延びます。

1. 電球の調整を始める前に本体の電源ケーブルをコンセントから外し、内部パーツが冷めるまでしばらくお待ち下さい。
2. 3 つの電球調整用ネジを時計回りに完全に回し、それぞれ 3 回転戻して下さい。
3. ユニットの電源を入れて下さい。
4. DMX コントローラー、又はユニットのコントロールパネルを使い、平らな壁などにライトを照らして下さい。

5. 3 つの調整ネジを使って、“ホットスポット”(ライトの一番明るい部分)を中心に設定します。調節ネジは 1 つずつ調整して下さい。
6. “ホットスポット”が明るすぎる場合、3 つの調整ネジを時計回りに回して下さい。また逆に中心が外側よりも暗い場合、電球が適切な位置よりも後ろに設置されています。調整ネジを使って調節して下さい。

ヒューズ交換

ユニットの電源ケーブルを本体から外して下さい。ヒューズ・ホルダーをマイナスドライバー等で取り出し、ヒューズを交換して下さい。

クリーニング

レンズやミラーを定期的に柔らかい布などで拭いて下さい。レンズやミラーが汚れていると輝度が下がり、本体の寿命も短くなります。

故障だと思ったら

ライトが点灯しない

1. 電源ケーブルが定格電圧 AC100、50/60Hz のコンセントに接続しているか確認して下さい。
2. ヒューズが切れていないか確認して下さい。
3. 電球がソケットに正しく設置されているか確認して下さい。

仕様

ACTIVE SCAN 250

使用電圧	:AC100V、50/60Hz
電球	:メタルハライド球 MSD250/2 250W
カラー	:11 色＋白
ゴボ	:7＋スポット
ヒューズ	:7A GMA 仕様
DMX	:6 チャンネル
その他	:サウンドアクティブ機能
サイズ	:546mm×203mm×182mm
重量	:14Kg

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

＜接続例＞

・DMX 対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルには DMX ケーブルもしくはマイクケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX 対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。

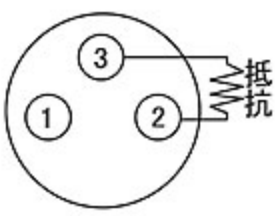
・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていませんが、なるべく距離が長くならない様に配線を行って下さい(※)。

・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64 や PAR38 等)の明るさを調節します。

・インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

ターミネーターの作成方法

ご自身で作成できない場合は、お求めの販売店にお問い合わせ下さい。

	・オスの XLR コネクターを使用し、120Ω 1/4W の抵抗を、図の様に 2 番と 3 番ピンに接続しショートさせて下さい。

ELATION
Professional